

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第7部門第3区分

【発行日】平成23年4月21日(2011.4.21)

【公開番号】特開2009-225023(P2009-225023A)

【公開日】平成21年10月1日(2009.10.1)

【年通号数】公開・登録公報2009-039

【出願番号】特願2008-66249(P2008-66249)

【国際特許分類】

H 04 N 5/335 (2011.01)

H 04 N 5/225 (2006.01)

H 04 N 5/238 (2006.01)

【F I】

H 04 N 5/335 Q

H 04 N 5/225 F

H 04 N 5/238 Z

【手続補正書】

【提出日】平成23年3月3日(2011.3.3)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

連続撮影露光時間設定手段と、ランダムシャッタ露光時間設定手段とを有し、動画を撮影する連続撮影シャッタモード時は、前記連続撮影露光設定手段の露光時間により撮像し、静止画を撮影するランダムシャッタモード時は、外部からのトリガパルス信号の入力を契機に、前記ランダムシャッタ露光時間設定手段の露光時間により撮像する固体撮像装置において、

前記外部からのトリガパルス信号が連続して入力されたとき、少なくとも最初の前記外部からのトリガパルス信号が入力された時点から最後の前記外部からのトリガパルス信号による映像信号の出力が終了するまでの間、光学系の設定値をほぼ一定に保持する手段を備えることを特徴とする固体撮像装置。

【請求項2】

連続撮影露光時間と、ランダムシャッタ露光時間とを切り替えて撮像する固体撮像装置において、

前記連続撮影露光設定手段の露光時間により連続撮影シャッタモードで動画を撮像するステップと、

外部からのトリガパルス信号の入力を契機に、前記ランダムシャッタ露光時間設定手段の露光時間によりランダムシャッタモードで静止画を撮像するステップと、

前記外部からのトリガパルス信号が連続して入力されたとき、少なくとも最初の前記外部からのトリガパルス信号が入力された時点から最後の前記外部からのトリガパルス信号による映像信号の出力が終了するまでの間、光学系の設定値をほぼ一定に保持して撮像するステップと、を備えることを特徴とする撮像方法。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】発明の名称

【補正方法】変更

【補正の内容】

【発明の名称】固体撮像装置および撮像方法